

自然環境の保全と再生について

令和 2 年 9 月

農政環境部 環境創造局 自然環境課

目 次

(ページ)

1	生物多様性保全の総合的推進	1
2	外来生物対策の推進	7
3	自然環境の保全	11
4	自然公園施設等の利用促進	12
5	自然再生の推進	15

1 生物多様性保全の総合的推進

(1) 生物多様性ひょうご戦略の推進

「生物多様性ひょうご戦略」で設定した行動計画、数値目標に基づき、県民、事業者、団体・NPO、行政等が相互に連携・協働し、生物多様性の保全・再生活動を推進するために必要な基盤整備や支援を図っている。

【生物多様性とは】

生きものの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、様々な環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれた。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的又は間接的に支え合って生きている。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしている。

○生態系の多様性

森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁など様々な自然がある。

○種の多様性

動植物から細菌などの微生物にいたるまで様々な生きものがいる。

○遺伝子の多様性

同じ種でも異なる遺伝子により形や模様、生態などに多様な個性がある。

【生物多様性地域戦略】

生物多様性の保全及び持続可能な利用を推進し、地域の主体的な取組を促進するため、市町や公園、学校区域等、地域レベルの戦略策定を促進

○策定済み：11市町、41地域・公園等 計52戦略

(2) 「兵庫県版レッドデータブック」等の改訂

貴重な野生生物や地形・地質、自然景観、生態系の保全を目的として作成した「兵庫県版レッドデータブック」（平成7年初回作成）について、最新の情報に基づき、分類ごとに順次改訂を進めており、平成29年度から3年間かけて、植物、植物群落を改訂した（令和2年6月公表）。

令和2年度からは、3年間かけて昆虫類、鳥類の改訂に取り組むこととしている。

また、レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物リスト）を必要に応じ追加・修正している。

◇「兵庫県版レッドデータブック」の改訂状況

発行年	H7(1995)	H15(2003)	H22(2010)	H23(2011)	H24(2012)	H25(2013)	H26(2014)	H29(2017)	R2(2020)	R5(2023) (予定)
区分	全区分 (初回版 発行)	全区分	植物 植物群落	生態系 地形 地質 自然景観	昆虫類	鳥類	貝類 その他 無脊椎 動物	哺乳類 爬虫類 両生類 魚類 クモ類	植物 植物群落	昆虫類 鳥類

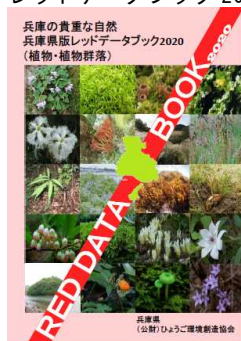
(概ね10年ごとの見直しを想定)

◇「兵庫県版レッドデータブック」分野別・ランク別掲載数一覧

区分		絶滅	野生絶滅	A	B	C	要注目	地域限定貴重種※	要調査	計
脊椎動物	哺乳類	1	—	5	—	—	3	—	9	18
	鳥類	1	—	21	64	25	17	—	25	153
	爬虫類	—	—	1	1	3	3	—	1	9
	両生類	—	—	4	6	7	1	—	—	18
	魚類	2	—	18	8	9	2	1	16	56
無脊椎動物	昆虫類	7	—	41	42	86	60	0	56	292
	クモ類	—	—	9	6	10	1	—	15	41
	貝類	3	—	79	38	25	7	1	—	153
	その他無脊椎動物	—	—	14	26	21	—	—	4	65
植物	維管束植物	33	4	309	224	195	—	—	44	809
	蘚苔類	1	—	62	29	50	—	—	0	142
	藻類	—	—	16	10	7	—	11	3	47
	菌類	—	—	4	11	—	16	—	13	44
植物群落		—	—	77	113	310	50	—	—	550
地形		—	—	19	38	43	—	—	—	100
地質		—	—	32	73	57	14	—	—	176
自然景観		—	—	10	75	124	19	—	—	228
生態系		—	—	23	23	25	—	—	—	71
計		48	4	744	787	997	193	13	186	2,972

※ 藻類については、「地域絶滅危惧種」。

レッドデータブック 2020 年版



カワウソ（哺乳類・絶滅）



（写真：環境省）

ツキノワグマ（哺乳類・要注目）



（写真：橋本敏男）

※2003 年：A→2011 年：B→2017 年：要注目

オナガ（鳥類・絶滅）



イヌワシ（鳥類・A）



（写真：三谷康則）

ミナミトミヨ（魚類・絶滅）



（写真：細谷 和海）

トビハゼ（魚類・A）



（写真：兵庫県立人と自然の博物館（増田 修））

ヒョウモンモドキ（昆虫類・絶滅）



（写真：刈田悟史）

ベニイトトンボ（昆虫類・A）



（写真：二宗誠治）

ヒメユリ（維管束植物・絶滅）



（写真：環境省）

ドクゼリ（維管束植物・絶滅）



（写真：小林禧樹）

アオゴケ（蘚苔類・絶滅）



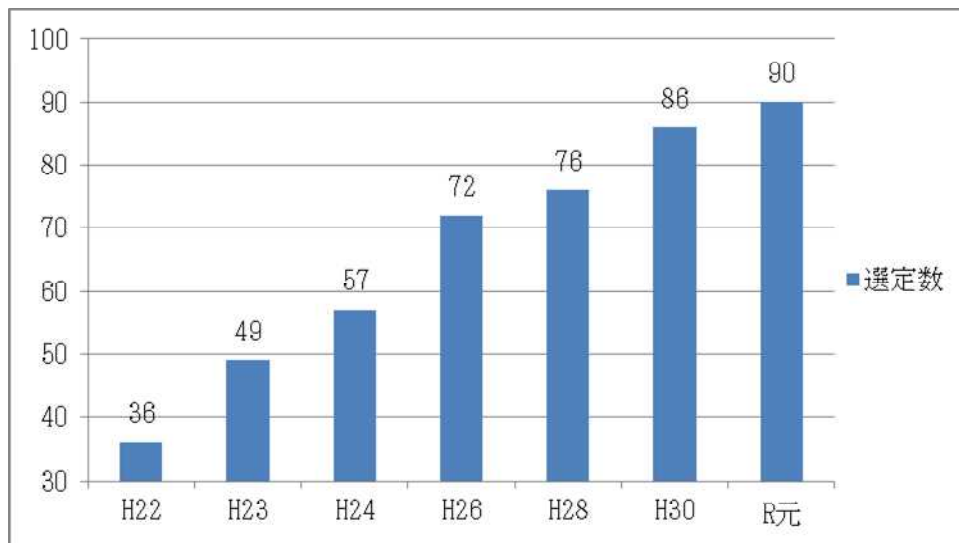
（写真：秋山弘之）

（3）ひょうごの生物多様性保全プロジェクトの推進

NPO法人など団体が実施している生物多様性保全の取組のうち、モデルとなる活動を「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」として選定し（R2年3月末：90件）、①活動内容を広く情報発信することで、県民や企業の参加促進、②選定団体の活動発表会を開催し、ネットワーク化や個々の活動のレベルアップ、③「生物多様性ひょうご基金助成金」（R2：19団体）による助成を行っている。

このほか、環境部局では、実践活動を行う環境団体に対して、「ひょうご環境保全創造活動助成金」（R2：20団体）、「ひょうごの水辺魅力再発見！支援事業補助金」（R2：3団体）などにより支援を行っている。

◇「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」選定団体数（累計）



◇選定プロジェクト（令和２年４月現在）

区 分	選定数	内容（実施団体） 例	主な活動場所
希少種の保全	３３	・西・中播磨地域における赤トンボ（アキアカネ）の復活（NPO 法人たつの・赤トンボを増やそう会）	たつの市
		・ダム建設に伴い湖底に沈む希少植物の保護及び水生生物保護（鞍居地区ふるさと村づくり協議会）	上郡町
		・龍野高校生による地域の生物多様性保全活動（県立龍野高等学校自然科学部）	たつの市
		・西宮市山口地域におけるモリアオガエルの保護と広報活動（西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会）	西宮市
		・丹波市地域におけるオオムラサキとホトケドジョウの生育・保護活動（オオムラサキとホトケドジョウの生育・保存会～住友ゴム工業(株)）	丹波市
水辺環境の保全 （外来生物駆除を含む。）	１８	・猪名川流域におけるネットワーク作りと外来種除去による在来種・貴重種の保全（流域ネット猪名川）	川西市
		・外来生物の駆除により豊かな里山環境の保護（やしろの森公園協会）	加東市
		・海岸のプラスチックゴミ清掃活動や環境学習の推進（海と空の約束プロジェクト）	明石市
地域生態系の保全・再生	３２	・ヤッホの森湿原の保全と維持（ヤッホの森湿原を育む会）	たつの市
		・姫路城中曲輪におけるジャコウアゲハを中心としたチョウの生育環境保全活動（白鷺学校運営協議会）	姫路市
		・西宮部品センター敷地内における生物多様性保全活動（西宮部品センター敷地内における生物多様性保全会～ダイハツ工業(株)）	西宮市
生物生息・生育環境の創出	７	・円山川下流域におけるコウノトリの生息環境づくり（コウノトリ湿地ネット）	豊岡市
		・兵庫運河周辺の環境を整備し、天然アサリの復活事業を実施（兵庫運河を美しくする会）	神戸市兵庫区
合 計	９０		

【ひょうごの生物多様性保全プロジェクト団体活動発表会】

R元	開催日	令和元年11月 8 日
	場所	神戸市教育会館
	参加者数	102人（プロジェクト団体、自然保護指導員、企業関係者、県民、市町職員など）
R2	検討中	



昨年度の状況



活動発表

参加者の交流

【生物多様性保全プロジェクト助成】

- 選定プロジェクトへの資金・資材等の支援、社員の活動参加による協働等を行う企業等を常時募集
- 寄付金は、（公財）ひょうご環境創造協会に設置している「生物多様性ひょうご基金」に受け入れ、選定プロジェクト実施団体へ助成



金出地ダム自然植物公園（上郡町）における植樹活動への企業参加（㈱伊藤園）

（※「お茶で兵庫を美しく。」キャンペーン期間中の「お〜いお茶」全飲料製品の売上の一部を寄付）



「生物多様性ひょうご基金」寄付感謝状贈呈式（イオングループ）

（※イオン発行の電子マネー「兵庫コトリWAON」カード利用金額の0.1%相当を寄付）

(4) 生物多様性配慮指針の普及

県をはじめ市町、NPO、企業等が実施する工事等において、配慮すべき事項をまとめた「生物多様性配慮指針」を、ホームページで公表するなど普及を図っている。

◇生物多様性配慮指針掲載事例数（令和2年4月現在）

区分	河川	道路	港湾/海岸	森林	農用地	ため池	合計
事例数	40	32	32	25	19	13	161

(5) 生物多様性アドバイザーの活用推進

地域の自然環境や動植物、生態系等に精通した専門家、学識者等を「生物多様性アドバイザー」として登録（R2.4現在34人）しており、公共工事や企業、NPO、市民グループが行う環境保全活動等に際し、各団体等からの要請に応じて指導・助言を行っている。

◇生物多様性アドバイザーへの主な相談内容（令和元年度実績）

相談者	件数	主な内容
行政	51	ミシシippアカミミガメの防除対策、チョウ類の生態等の市民向け冊子編集 等
企業	26	事業地の生物多様性保全、環境影響評価 等
NPO・市民グループ	8	ゲンジボタルの復活、カタクリの生態と保全方法 等
合計	85	

(6) 自然保護指導員による指導・啓発

自然に関する豊富な知識と熱意を有する者を自然保護指導員として委嘱（40人）し、自然環境の保全と適正な利用について県民への指導・啓発を行っている。

また、生物多様性保全に取り組む団体と交流する研修会を開催し、資質向上に努めている。

◇自然保護指導員の活動内容

- 自然公園、自然環境保全地域等の巡回
- 動植物の生息状況等に関する情報提供
- 動植物の保護など自然の適正利用に関するハイカー等への指導
- 自然観察会等に講師として参加することによる普及・指導 など

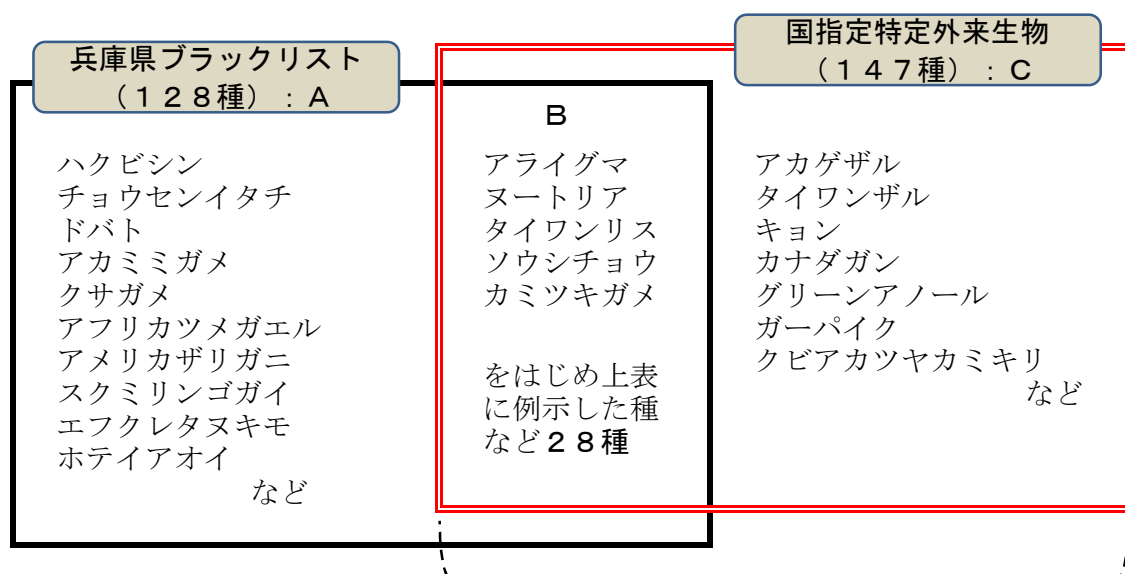
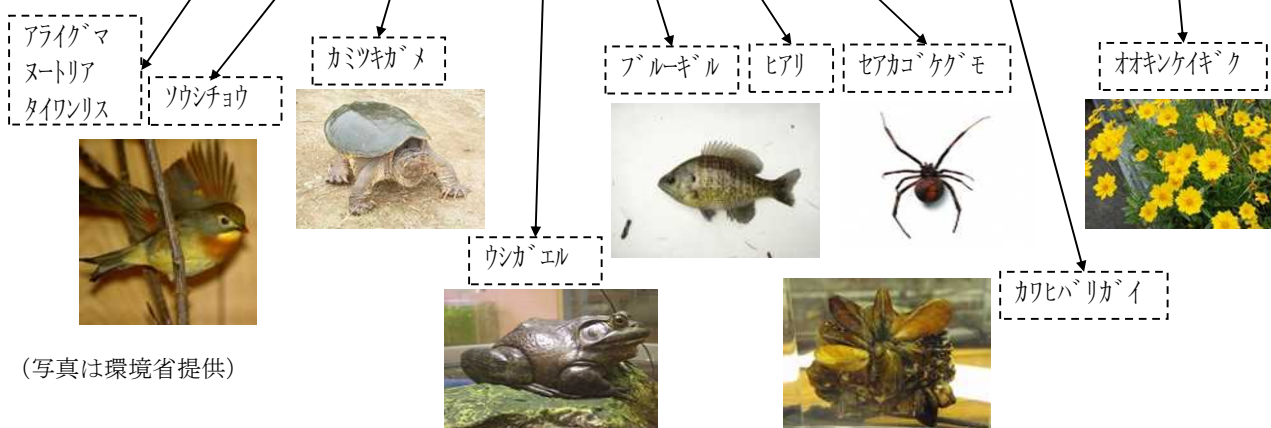
2 外来生物対策の推進

(1) ブラックリスト等による普及啓発

兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物のリスト（ブラックリスト）や外来生物への基本的な対応方策をわかりやすくとりまとめた「生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物への対応」を活用し、県民、NPO等や県・市町の関係部局への普及啓発を行っている。

◇ブラックリスト選定状況（令和2年4月現在）

分類群 区分	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	クモ類	甲殻類	貝類	その他 無脊椎 動物	維管束 植物	合計	
ブラックリスト選定	13	6	5	3	10	10	3	5	11	2	60	128	A
うち特定外来生物	3	1	1	1	4	3	2	0	1	0	12	28	B
参考：特定外来	25	7	21	15	26	21	6	5	4	1	16	147	C



アカミミガメ
(写真は環境省提供)



外来生物法で、飼育・栽培、運搬、保管、輸入等が制限される。

ガーパイク（ガー科全種のこと）

◇ブラックリストの追加・修正（令和元年度）

《維管束植物》

区 分		種 名	備 考
追 加	Zランク (要警戒種)	エフクレタヌキモ 	南アメリカ原産とされる水生植物。六甲山系の池沼や県南部のため池で野生化が相次ぎ、深刻な生態系被害を及ぼししつつある例が見られる。 ©大垣内 宏

(2) 兵庫県外来生物対策協議会の運営

県、ひょうご環境創造協会、兵庫県自然保護協会で設置した協議会のもと、アライグマ・ヌートリア対策連絡会議及び外来昆虫等対策連絡会議を開催し、市町、関係団体、専門機関との情報共有を図るとともに、早期発見・早期防除の体制づくりを行っている。

(3) アライグマ・ヌートリア対策の推進

① 市町への支援

野生化したアライグマ・ヌートリアによる農業被害や生活環境被害等が発生していることから、市町防除実施計画に基づき市町が実施する捕獲・処分等の支援を行い、地域からの排除を推進している。

◇アライグマ・ヌートリアの捕獲頭数と農業被害額

区 分		H27	H28	H29	H30	R1
捕獲数 (頭)	アライグマ	4,795	5,334	4,561	6,418	6,204
	ヌートリア	1,014	953	1,124	762	1,065
農業被害額 (千円)	アライグマ	64,332	58,952	56,604	54,909	49,613
	ヌートリア	10,130	11,353	13,347	10,868	5,344

◇市町経費に対する支援内容

負担割合：市町特交1/2、県1/4、市町1/4

捕獲・搬入・殺処分支援	わな等購入支援
捕 獲：3,000円/頭 搬 入：1,000円/頭 殺処分：3,000円/頭	汎 用 捕 獲 わ な：19,000円/基 アライグマ専用新型わな：47,600円/基 処 分 箱：54,000円/基 電 殺 器：48,600円/基 冷 凍 庫：33,600円/台

【外来生物と特定外来生物の違い（哺乳類・鳥類）】

ハクビシンは外来生物ではあるものの、特定外来生物に指定されていないため、アライグマ、ヌートリアのように外来生物法に基づく防除を行うことはできない。捕獲する場合は、鳥獣保護管理法による有害鳥獣捕獲、狩猟等となる。

② 捕獲強化の取組

農業被害地での捕獲・排除を継続して推進するとともに、生活環境被害が拡大増加している都市部を対象に、住民による捕獲活動を支援する取組を強化しており、令和2年度からは専用捕獲わなを充実させ、捕獲強化期間における集中捕獲等に取り組んでいる。（捕獲目標 アライグマ＝R元：6,000→R2：7,000頭、ヌートリア＝1,000頭（R元・2とも同じ）。



捕獲されたアライグマ



アライグマ専用捕獲わな（写真：㈱地域環境計画）
※前肢で器用にエサを取るアライグマだけを捕獲して、タヌキやネコなどを誤って捕獲しない専用わな

【狩猟免許を有しない者の捕獲参加】

特定外来生物であっても鳥獣であるアライグマ、ヌートリアの捕獲には、原則狩猟免許を必要とするが、防除実施計画に基づき市町が実施する講習を受講することで狩猟免許非所持者も捕獲が可能になる。

【住民参加型のアライグマ防除】

アライグマによる農産物被害、生活被害が深刻化していた丹波篠山市の大山地区では、住民が自ら捕獲対応するため「大山捕獲隊」という住民グループを平成23年に立ち上げた。森林動物研究センター、市の協力を得ながら、これまでに260頭以上のアライグマを捕獲している。

実施主体：（特非）大山捕獲隊（住民で組織）×森林動物研究センター

- 大山捕獲隊：アライグマを捕獲するために必要な体制構築、実態調査等
- 森林動物研究センター：捕獲活動の支援、実態調査のデータ分析等

(4) 未定着の特定外来生物対策の推進

ヒアリ、クビアカツヤカミキリなど未定着の特定外来生物について、侵入初期段階での早期防除や定着阻止に向けた対策を国や市町と連携・協力しながら取り組んでいる。

＜外来生物対策協議会による取組＞

- 専門家による外来生物対策研修（行政職員、コンサルタント、県民）
- ヒアリ防除実地研修（行政職員、港湾管理者、コンテナ取扱事業者）
- クビアカツヤカミキリ防除実地研修（行政職員、公園管理者、果樹栽培農家）
- クビアカツヤカミキリ防虫ネットの配備
- 県民向け特定外来生物ガイドラインの作成
- 環境DNAによる水生外来生物調査



ヒアリ

【侵入可能性の高い外来生物ークビアカツヤカミキリー】

- 全国 11 都府県（近隣では大阪府、奈良県、和歌山県、徳島県）で確認
- 特徴：体長 2.5～4 cm、全体的に光沢がある黒色で、胸部（首の部分）が赤色
- 自然分布：中国、朝鮮半島、ベトナム北部など
- 被害：幼虫がサクラやウメ、モモなどの主にバラ科の樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らし枯死させる。



クビアカツヤカミキリ

3 自然環境の保全

(1) 自然公園地域の指定

優れた自然の風景地を保護するとともに、保健、休養や環境学習等の利用に役立てるため、自然公園法により環境大臣が国立公園及び国定公園を、兵庫県立自然公園条例により知事が県立自然公園を指定している。

現在、これらの公園面積は県土の約20%を占めている。



雪彦峰山県立自然公園（S38.5指定）
雪彦山（姫路市）

◇自然公園の指定状況（令和2年4月現在）

公園区分	箇所	面積(ha)	自然公園の名称
国立公園	2	19,524	◇瀬戸内海(六甲地域・淡路地域・西播地域) ◇山陰海岸
国定公園	1	25,200	◇氷ノ山後山那岐山
県立自然公園	11	121,357	◇多紀連山 ◇猪名川溪谷 ◇清水東条湖立杭 ◇朝来群山 ◇音水ちくさ ◇但馬山岳 ◇西播丘陵 ◇出石糸井 ◇播磨中部丘陵 ◇雪彦峰山 ◇笠形山千ヶ峰
計	14	166,081	

(2) 自然公園の保護

国定公園及び県立自然公園における携帯電話の基地局をはじめ工作物の新築等の行為について、許可などを通じて風致景観の保護を図っている。

◇許可等の件数

(単位：件)

年度	国定公園	県立自然公園	計
平成30年度	35	56	91
令和元年度	22	44	66

(3) 自然環境保全地域等の指定

優れた自然環境を保全するため、環境の保全と創造に関する条例に基づき、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、自然海浜保全地区及び郷土記念物を指定し、指定地域等の中で行う土地の形状変更等の行為について、許可などを通じて保全を図っている。

◇自然環境保全地域等の指定状況（令和2年4月現在）

自然環境保全地域 ◇16か所 ◇総面積 398.30ha	自然的社会的条件からみて当該自然環境（優れた天然林、特異な地形や地質等）を保全することが特に必要な地域 【置塩城跡コジイ林（姫路市夢前町）等】
環境緑地保全地域 ◇36か所 ◇総面積 122.37ha	市街地周辺又は集落地若しくはその周辺にある樹林地や水辺のうち、風致、形態等が住民の健全な生活環境を確保するために特に必要な地域 【福岡八幡神社のスギ・ブナ林（香美町村岡区）等】
自然海浜保全地区 ◇3か所 ◇総延長 3,000m	瀬戸内海の内海及びこれに面する海面のうち、海水浴等のレクリエーションの場として利用され、自然の状態が維持されている地区 【洲本市安平等】
郷土記念物 ◇46か所	地域の自然を象徴し、県民に親しまれ、または由緒由来があり、特に保全が必要な植物、地質、鉱物 【三柱神社のアカメヤナギ（新温泉町福富）等】

4 自然公園施設等の利用促進

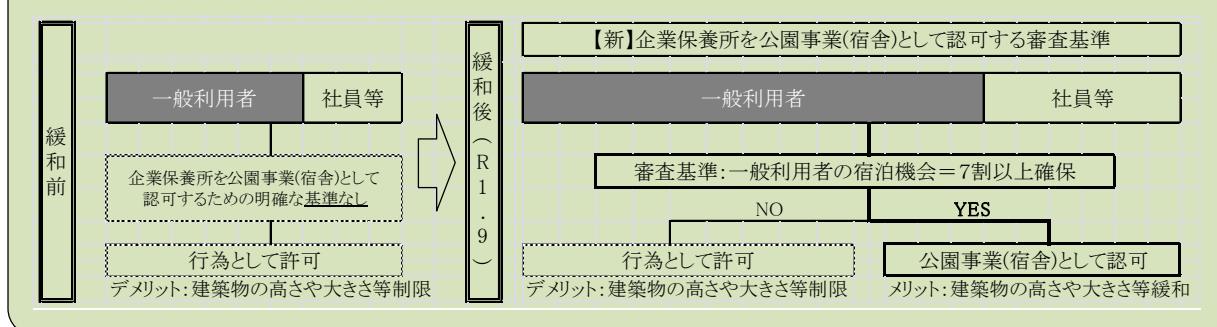
(1) 国立公園六甲地域の活性化

六甲山の魅力、ブランド力の向上を図るため、環境省と共同で「国立公園六甲山魅力向上プロジェクト推進委員会」を設置しており、令和2年度は国立公園六甲地域管理運営計画の改定について協議を行っている。

また、六甲山ビジターセンターを拠点として関係機関と連携し、賑わい創出に取り組むとともに、国立公園に相応しい上質で静謐な環境づくりのため、ローリング族による車両騒音の抑止にも取り組んでいる。

【遊休化した企業保養所の活用】

令和元年9月に環境省が示した企業保養所等を国立公園の公園事業(宿舍)を認可する審査基準の緩和を活用するとともに、保養所を所有する企業に対して県市が共同支援する「賑わい創出事業」の活用を呼びかけ、遊休化した施設の積極的な改修、建替えを促進し、活性化に取り組む。



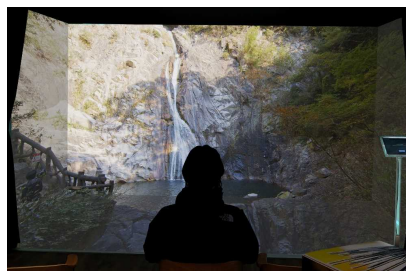
■六甲山ビジターセンター

六甲山のおいたちや歴史、植物・動物などの自然をパネルで学ぶことができるほか、研修や休憩の場としても利用できる。また、令和2年6月には、六甲山の歴史や豊かな自然を臨場感あふれる映像で体験できる「六甲山自然体験シアター」を開設した。

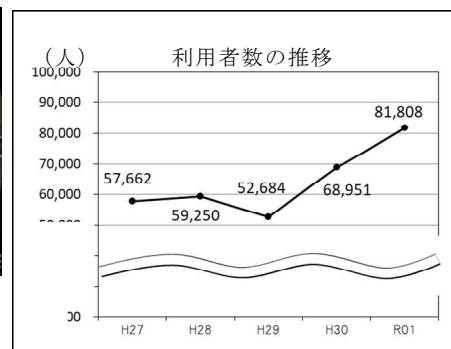
併設の六甲山ガイドハウスは、六甲山の魅力や見どころなどの情報を発信しており、ボランティアガイド「山の案内人」の活動拠点となっている。



六甲山ビジターセンター



六甲山自然体験シアター

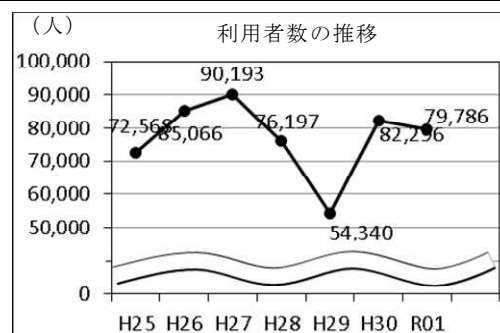


(2) ふれあい施設の整備

自然公園内にビジターセンターを整備し、自然や見どころなどを紹介するほか、休憩の場を提供している。

とのみね自然交流館

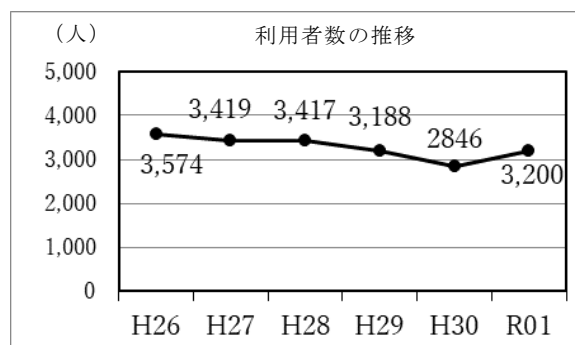
【雪彦峰山県立自然公園】



砥峰高原にはススキ草原や湿原など貴重な自然環境があり、交流館は高原の保安全管理や野外活動、自然体験の拠点としての役割を担っている。

黒川自然公園センター

【朝来群山県立自然公園】



朝来群山に生息する動物・昆虫・植物の大図“館”としての環境学習施設であり、館内でパソコン図鑑を使って、植物や昆虫の生態を調べることができる。

(3) 自然公園施設等の整備

県民の利用の快適性、安全性を確保し、自然とのふれあいの推進を図るため、自然公園施設等の整備を適切に行う。

◇自然公園施設等の整備箇所

◆市町実施事業 ◇県実施事業

令和元年度	令和2年度（計画）
◆六甲山 最高峰トイレ改修工事（神戸市） ◆摩耶山 園地改修工事（神戸市） ◆霧滝 霧滝駐車場・歩道整備工事（新温泉町） ◆猿尾滝 歩道整備工事（香美町） ◇赤穂御崎 園地改修工事（赤穂市） ◇慶野松原 野営場改修工事（南あわじ市） ◇今子浦 野営場改修工事（香美町） ◇砥峰高原 歩道災害復旧工事（神河町） ◇自然公園施設長寿命化計画策定業務（県全域）	◆六甲山 最高峰園地改修工事（神戸市） ◆霧滝 歩道改修工事（新温泉町） ◆シワガラの滝 歩道改修工事（新温泉町） ◇六甲山 歩道及び標識改修工事（神戸市） ◇慶野松原 トイレ改修工事（南あわじ市） ◇県立自然公園等 維持修繕工事（県全域） ◇自然公園施設長寿命化計画策定業務（県全域）

(4) 近畿自然歩道の維持管理

2府7県にまたがる近畿自然歩道は、県内で4ルート65コース（約590km）を案内しており、姫路市ほか9市町に草刈、軽微な補修、トイレの維持管理を委託している。

(5) 国立公園における清掃活動

環境省・県・市町・兵庫県自然公園美化推進協議会（事務局：自然環境課）が協力し、道路、広場、キャンプ場等の公共の場所において、清掃活動を実施している。

◇令和元年度実績

ゴミ回収量：571.48t（燃性354.98t、缶類131.9t、ガラス容器等84.6t）

自然公園クリーンデー（8月4日）等の清掃参加者：5,547人

活動地区：瀬戸内海国立公園（六甲山、赤穂御崎、慶野松原、鳴門岬、由良・三熊山）、山陰海岸国立公園（玄武洞、竹野、香住、浜坂）



瀬戸内海国立公園 成ヶ島の清掃活動
（洲本市 - 由良・三熊山地区）



山陰海岸国立公園 玄武洞公園の清掃活動
（豊岡市 - 玄武洞地区）

5 自然再生の推進

(1) 上山高原エコミュージアムの推進

イヌワシなど貴重な野生生物が生息する上山高原とその周辺地において、(特
非)上山高原エコミュージアム及び新温泉町と連携し、また、幅広い県民の参画
を得てススキ草原(県レッドデータブック：Bランク)やブナ林の復元などの自然再生
事業や地域資源を生かした多彩な交流プログラムを実施している。

◇令和元年度の交流プログラム実施状況

プログラム数：16、参加者：611人

山開き、山焼き、自然観察会、滝トレッキ
ング、高原キャンプ、残雪・新緑登山、ふ
るさと講座、シイタケ植菌体験、かんじき
ハイキングなど



自然観察会